

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

発表演題名	Survey of the vectorial competence of ticks in an endemic area of spotted fever group rickettsioses in Fukui Prefecture, Japan
発表雑誌名	Microbiology and Immunology Vol.52(2008)
発表者名	石畝 史、高田伸弘 1)、藤田博己 2)、野路善博 3)、矢野泰弘 1)、岩崎博道 1) 1)福井大学医学部 2)大原総合病院・大原研究所 3)福井県立病院
雑誌発行月	平成 20 年 6 月
発表内容	2004 年に日本で初めて福井県で <i>Rickettsia helvetica</i> の感染が示唆された紅斑熱群リケッチア症が確認され、患者が感染したと思われる荒島岳において、2005 年～2006 年に媒介マダニ種の調査をした。採集できた 6 種 222 個体のマダニのうち、ヒトツトゲマダニ 32 個体中 8 個体からリケッチアが生菌分離でき、塩基配列から <i>Rickettsia helvetica</i> と同定された。その結果、媒介者はヒトツトゲマダニの可能性が最も高いと思われた。